

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定1](#)

[配線されたルートAP メッシュ 設定](#)

[メッシュ アクセス Point \(MAP \) 設定](#)

[スレーブ AP---- ひな菊の花輪 設定](#)

[設定2](#)

[配線されたルートAP 設定](#)

[主地図 AP 設定](#)

[マスター AP およびリモートスイッチに接続されるスレーブ RAP。](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料はデイジーチェーンを用いる 1532's の設定を完了し、リモートスイッチのトラフィックのイーサネットブリッジングがコアネットワークにフローするように 2 つのメソッドをリストしたものです。

前提条件

8.0.120.0 を実行しているコントローラは活動化し。

最小 2 つの 1532 の屋外 AP (アクセス ポイント)。デイジーチェーン接続するための配線されたルートが、2 1532's を使用しなければならないと同時に AP の他のどのモデルも使用できます当然。

のこの設定開始する前に、メッシュ ネットワークの設定が完了し、正しくなるために確認されるまでリモートスイッチがスレーブ RAP (ルートアクセス アクセス・ポイント) に接続されないことを確かめて下さい。これをしない場合、スパニングツリーが RAP に接続される全メッシュ ネットワークを降ろす高い確率があります。それはルートAP スイッチポートをブロックし、それに接続された子供全員を廃棄します。これはメッシュ ネットワークの再収束による全新一組の問題を作成できます。場合によっては拡張停止および多くの欲求不満を引き起こすこと。

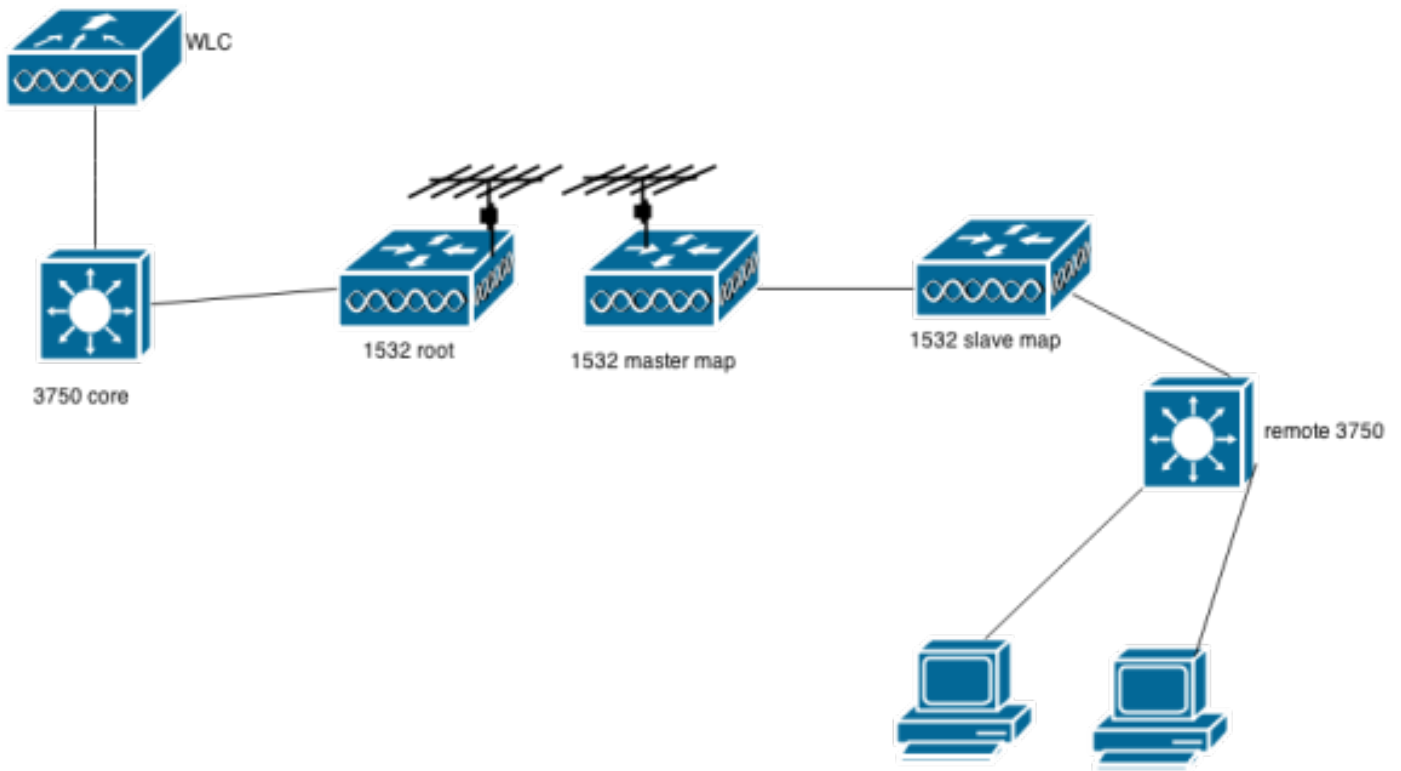
使用するコンポーネント

- 2504 ワイヤレス LAN コントローラ
- 配線された RAP として 2702
- デイジーチェーン接続するべき 2 1532's
- 2 つのスイッチ (ラボの 3750's)、1 コア、1 遠隔。

- 2 VLAN。
- 1107 は AP がのコントローラに接続するか何ネイティブであり。
- 12 は遠隔によって配線されるクライアント VLAN です。

設定

ネットワーク図



設定1

最も容易な方式最初に。

コントローラのイネーブル VLAN 透過的な。それ有効に されてこれがネイティブを渡し、また叩く音/マップ ギグインターフェイスでそれらを定義しないでリモート側からのタグ付けされた VLAN を渡します。多くこれで次の例で。

Mesh

General

Range (RootAP to MeshAP)	12000	feet
IDS(Rogue and Signature Detection)	<input type="checkbox"/>	Enabled
Backhaul Client Access	<input type="checkbox"/>	Enabled
Mesh DCA Channels ¹	<input type="checkbox"/>	Enabled
Global Public Safety	<input type="checkbox"/>	Enabled

Ethernet Bridging

VLAN Transparent	<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled
------------------	-------------------------------------	---------

配線されたルートAP メッシュ 設定

General Credentials Interfaces High Availability Inventory Mesh Advanced

AP Role

Bridge Type

Bridge Group Name

Strict Matching BGN

Ethernet Bridging

Preferred Parent

Backhaul Interface

Bridge Data Rate (Mbps)

Ethernet Link Status

Heater Status

Internal Temperature

VLAN Support

Native VLAN ID

Ethernet Bridging

Interface Name	Oper Status	Mode	Vlan ID
GigabitEthernet0	Up	Access	0
GigabitEthernet1	Down	Access	0

メッシュ アクセス Point (MAP) 設定

ひな菊の花輪の最初メッシュ AP。これはチェーンのマスターとみなされます。それは配線された叩く音に接続するのに 5Ghz 無線を使用します。デイジーチェーン接続がこの AP で有効になることに注目して下さい。

General Credentials Interfaces High Availability Inventory Mesh Advanced

AP Role

Bridge Type

Bridge Group Name

Strict Matching BGN

Ethernet Bridging Daisy Chaining

Preferred Parent

Backhaul Interface

Bridge Data Rate (Mbps)

Ethernet Link Status

VLAN Support

Native VLAN ID

Ethernet Bridging

Interface Name	Oper Status	Mode	Vlan ID
GigabitEthernet0	Down	Access	0
GigabitEthernet1	Up	Access	0

スレーブ AP--- ひな菊の花輪 設定

ひな菊の花輪のスレーブ AP。叩く音およびないマップで設定されることに注意して下さい。この AP は主地図 AP の LAN ポートに接続するのに POEIn ポートを使用します。ひな菊の花輪がこの AP で有効になることに注目して下さい。それが 2.4Ghz および 5Ghz 無線であるのでこの AP の LAN ポートからトラフィックは同様にイーサネットケーブルでマスター AP に送信され、次に叩く音にコアでマスター AP 5Ghz 無線を送信しました。リモートスイッチにそれからこの AP の LAN ポートを接続します。

この AP が叩く音で設定されるのでまたコア ルート AP より別のチャンネルへです 5Ghz 無線それを変更できます。こうすればこのスレーブ AP からの追加ダウンストリーム マップにチャンネル分離があることができます。

General | Credentials | Interfaces | High Availability | Inventory | Mesh | **Advanced**

AP Role: RootAP ▼

Bridge Type: Outdoor

Bridge Group Name: C-D

Strict Matching BGN:

Ethernet Bridging: Daisy Chaining:

Preferred Parent: none

Backhaul Interface: 802.11a/n

Bridge Data Rate (Mbps): auto ▼

Ethernet Link Status: UpDn

VLAN Support:

Native VLAN ID: 1107

Ethernet Bridging

Interface Name	Oper Status	Mode	Vlan ID
GigabitEthernet0	Up	Access	0
GigabitEthernet1	Down	Access	0

設定2

より複雑、しかしメッシュ ap's のギグインターフェイスで VLAN を許可するか、または許可しないことの一層の柔軟性を少し与えます。

VLAN 透過的なのはこの設定のために無効です。

以下の事項に注意して下さい:はたらかせるこの設定のためにすべての ap で有効になる VLAN サポートを持たなければなりませんこのブリッジグループの一部であるか、またはメッシュに互いに接続する。

またメッシュ パスに沿う AP のすべてのインターフェイスのネイティブ VLAN、また許可された VLAN を定義しなければなりません。

クリアさせますうまく行けばこのポイントをクリックショット。

Mesh

General

- Range (RootAP to MeshAP) feet
- IDS(Rogue and Signature Detection) Enabled
- Backhaul Client Access Enabled
- Mesh DCA Channels [1](#) Enabled
- Global Public Safety Enabled

Ethernet Bridging

- VLAN Transparent Enabled

配線されたルートAP 設定

General | Credentials | Interfaces | High Availability | Inventory | Mesh | **Advanced**

AP Role: RootAP

Bridge Type: Outdoor

Bridge Group Name: C-D

Strict Matching BGN:

Ethernet Bridging:

Preferred Parent: none

Backhaul Interface: 802.11a/n/ac

Ethernet Link Status: UP

VLAN Support:

Native VLAN ID: 1107

Ethernet Bridging

Interface Name	Oper Status	Mode	Vlan ID
GigabitEthernet0	Up	Access	0

Interface
この設定は、ルートAPが他のAPと接続できるように設定されています。VLAN IDの値は、このAPのブリッジポートに定義されたためです。
Native VLAN ID: 1107

ノード 78da.6e59.a6be

GigabitEthernet1: GigabitEthernet1(state は開いています)

Virtual-Dot11Radio0: Virtual-Dot11Radio0(state は認証です)

ノード 0024.f7ae.020f